

地域女性活躍推進事業【大牟田市】

地域の実情と課題

これまで行政と協働で活動してきた女性団体は高齢化が進み、組織の衰退が懸念されており、新たな組織づくりが必要である。一方で自分の能力を活かして起業し、目覚ましい活躍をしている女性達も増えてきているが双方が互いに交流・連携を図る取り組みがなされていない状況にある。また、農業分野においても高齢化や後継者不足により農業の活力が低下している。

目的・目標

起業している女性達をはじめ既存の女性団体や市内の事業者を巻き込み、女性の視点を活かしたまちづくり、地域づくりを推進し農業や食といった、比較的規模が小さく、地域に根ざし、かつ女性ならではの視点を活かすべき分野があることを今一度見つめ直し、一体となって地域経済の活性化を促すことを目指す。

事業の特徴

- (1)女性活躍推進事業
「女性が変わればまちが変わる」をテーマとした講演会を行う。また、起業家や経営者等をパネリストとして、それぞれの立場から、地域から元気を発信するためにパネルディスカッションを行う。
- (2)農産物加工品開発推進事業
農産物加工品開発研修業務委託契約を締結し、入門編及び実践編の研修会を行う。

連携団体

- (1)女性活躍推進事業
大牟田市小学校父母教師会連合会、大牟田商工会議所女性会、おおむた女性会議21、翼の会おおむた、南筑後農業共同組合女性部、レディースネットワーク
- (2)農産物加工品開発推進事業
委託事業者、農業委員会、認定農業者協議会、栽培指導員、地域おこし協力隊

事業の効果

- (1)女性活躍推進事業
市内の様々な分野で活躍される女性達が新たなネットワークのもと、「見える化」されることにより、まちづくりや地域づくりの中で、女性の視点を活かした取り組みが推進され、女性リーダーの幅広い分野での参画を促進し、職場や地域等の活動が活性化する。
- (2)農産物加工品開発推進事業
研修を通して商品開発～流通までの認識や興味が向上し、実際の知識・経験値向上、実践に繋がる。

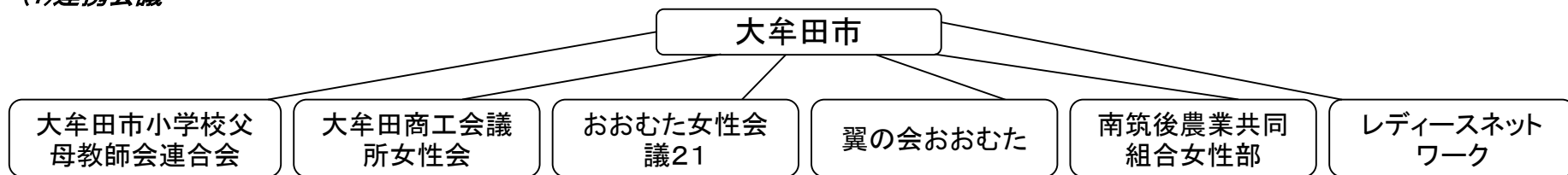
今後の課題

- (1)女性活躍推進事業
男女共同参画社会を推進していくためには、女性の活躍のみならず、男性の意識が変わることも重要であることから、今後は男性に対する啓発を行っていくことが必要である。
- (2)農産物加工品開発推進事業
 - ・農産加工事業者の組織化
 - ・リーダー育成

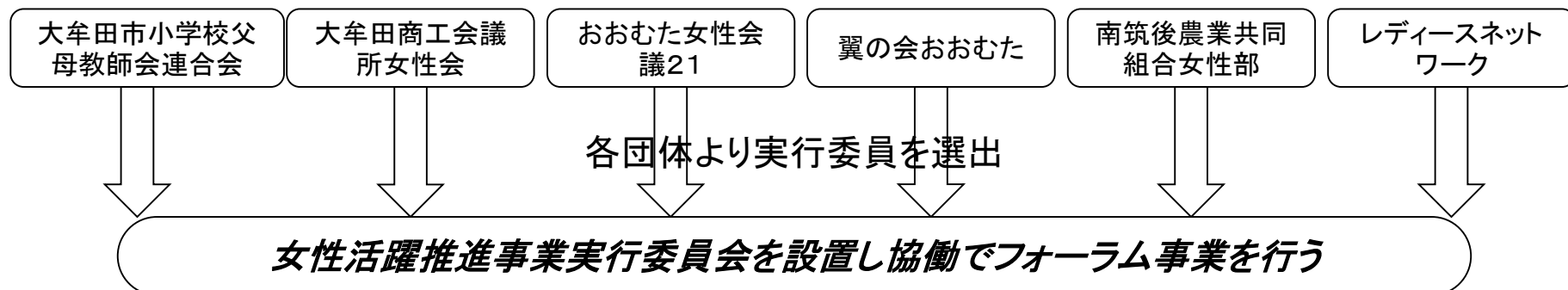
事業の概要

1.女性活躍推進事業

(1)連携会議



(2)実行委員会



(3)女性活躍推進フォーラム

⇒実行委員会で講演会テーマ、講師、パネルディスカッションテーマ、パネリストを決定。

【講演会】

テーマ:「女性が変われば
マチが変わる」

講師:福岡県男女共同参
画センター館長 松田美幸

【パネルディスカッション】

テーマ:「元気発掘!おおむたの底力」

パネリスト

○café de OLIVE代表 岩倉美穂

○(株)西日本鉄道勤務 櫻井ちはる

○大牟田ガス代表取締役社長 佐藤操

○大牟田市長 中尾昌弘

フォーラム参加者100名、アンケート回答者数44名

【アンケート集計】

・講演会 1よかった88.6% 2まあまあよかった11.4%
3よくなかった0%

・パネルディスカッション 1よかった72.7% 2まあまあ
よかった13.6% 3よくなかった4.5% 4無回答9%

事業の概要

2. 農産物加工品開発推進事業

大牟田市



【地域の実情と課題】

年1回程度、市主催の加工品の研修会を実施しても、なかなか商品化に繋がらない。商品開発から販売までを一体的に指導する必要がある。

農産加工品開発研修会 事業イメージ図

講師：中野幸浩氏



【研修内容(全10回)】

- ・商品開発・企画
- ・原価計算・価格設定
- ・販売手法
- ・販路開拓
- ・パッケージデザイン
- など

委託契約

指導

農産加工品開発研修会(座学)



食の収穫祭 in 福津(試験販売)



今後の課題

- ・直売所への来店客数増加
- ・売上利益の増加
- ・販路開拓
- ・後継者づくり
- ・新たな分野への進出
- ・地域ブランドの育成



研修の効果は・・・



新商品 5 品、ブラッシュアップ品 3 品



加工事業に取り組む農業者の増(3 組)



農業者の利益向上



加工事業者の組織化の気運の高まり

こんな効果がありました！

参加者は連続した研修プログラムにより、商品開発から販売、経営までを包括的に学んだ。商品開発への認識や興味、知識・経験値、実践力向上に繋がった。